

ボランティア活動報告

仁愛女子短期大学

パソコンボランティアサークル

はしもと (2013年度サークル長)

パソコンボランティアサークル (以下、パソボラ) では、毎月第3土曜の午後に鯖江市社会福祉協議会 (以下、社協) が主催する「障がい者のためのパソコン相談会」にボランティアスタッフとして参加しています。今日は、今年度から活動を始めた1回生数名に感想を聴いてみましょう。



かどや (2014年度サークル長)

私はKさんの相談に2回対応しました。Kさんは右手に障がいがあり、パソコン (以下、PC) の準備や後始末にサポートが必要です。しかしPC操作の面では私たちよりもとても優れていると思いました。たまに、わからないところがあると私たちに質問し、自分でできるようになるまで何回も挑戦するという、とても一生懸命な方です。最初はPCの知識も少ない私に教えることができるのか不安でしたが、このボランティア活動では相談し合いながら楽しく活動できるので不安もなくなりました。私たちのサポートを必要とする人のために私自身も努力したいと思います。

すぎもと

私は、パソボラを通して、人と話す能力などが少しずつ身に付いていると感じています。最初は、相手が障がい者の方ということもあって、不安でいっぱいでした。しかし、PCの操作を教えることで、自然に会話をすることができ、

最近では会話をするよりも操作を教えるほうが難しく思うときもあります。どうすれば相手にわかりやすく伝わるかを考え、行動することで、PCの操作の確認はもちろん、思いやりの心が養われていると感じます。

おくで

仁短内でのサークル活動としては、視覚障がい者が用いる画面読み上げソフト (VDM) や音声メール&ニュースソフト (VoicePopper) の使用方法、キーボードのみを使った (マウスを使わない) 画面操作について学びました。そして実際に社協へ行って、視覚障がい者の方にPCの操作方法を教えました。しかし、私よりも障がい者の方がPCを上手に使いこなしており、私のほうが勉強になりました。また、シニアのボランティアスタッフの方に障がい者の方との接し方について教わりました。あまり力になることができなかつたかなと思いましたが、最後に相談者から「ありがとう楽しかった」と言っていただいた時はとても嬉しかったです。頑張って今よりも上手にPCを使えるようになりたいと思いました。

ボランティアサークル

幼児教育学科2回生 小中凧

ボランティアサークルでは、定期的な図書館での活動に加え、児童館や保育所、幼稚園、地域のイベントなどで、子どもを対象としたレクリエーションや絵本の読みきかせなどの活動をしています。

定期的な図書館での活動は、2ヶ所におよそ月1回ずつの頻度で、レクリエーションや制作活動、読みきかせなどを実施しています。主な参加者は、子どもは未就園児から小学生まで幅広く、保護者の方も一緒に参加して下さることも多いです。はじめは、子どもたちの目線に立って内



容を考えたり、準備を進めたりすることが難しく、保護者の方からアドバイスをいただいたり、予想外のことが起こったりして、戸惑うことの方が多かったです。そのため、子どもたちが満足できないまま活動を終えることも多く、子どもたちが笑顔を見せてくれないこともありました。しかし、毎回必ず反省会を行い、授業や実習で学んだことなどを取り入れながら、次の活動につなげる努力をしていきました。さまざまな反省と工夫を繰り返しながら、なんとか徐々に、子どもたちや保護者の方の前で活動をするにも慣れていきました。そして、少しずつ子どもたちからも「楽しかったよ」という言葉や笑顔をもらった時は、とてもうれしく、また次もがんばろうと思います。

絵本や手遊びは、子どもたちの年齢などを考えながら選びますが、毎回とても悩みます。参加は自由なので、どの年齢の子どもが来ても対応できるようにしなければならないことも難しいです。また、どのような絵本を選ぶだけでなく、導入の仕方や読み方についても、子どもたちにわかりやすく伝え、楽しんでもらうためにはどうすればよいのかを考えています。まだうまくいかないことも多いのですが、手遊びや絵本、紙芝居のレパートリーも徐々に増え、話を広げたり、つなげたりすることもできるようになりました。活動後には、参加して下さった保護者の方や子どもたちと話す機会があることも、貴重な経験になっています。



栄養研究サークル

森田地区文化祭

栄養研究サークルでは、10月20日の森田地区文化祭に手作りパウンドケーキの店を出店しました。パウンドケーキは、プレーン・抹茶マーブル・ココアマーブルの三種類を販売しました。今年は、一本売り1本450円に加え、バラ売り1個100円も販売し、小学生の子供たちにも買えるように配慮しました。

バラ売りにしたことで、価格が安く、食べたい分だけ買えることもあり、昨年よりも若い年代のお客様からも買っていただくことができました。特にココアマーブルは、どの年代にも人気があり、あっという間に完売してしまいました。午前の販売では、本売りで買ってくださるお客様が多かったため、バラ売りより早く完売してしまいました。

あいにくの雨天にも関わらず、たくさんお買い上げいただいたお客様にとっても感謝でいっぱいです。実際にパウンドケーキを生産から販売まで手掛けることはとても大変なことです。お客様の生の声が聴けることが励みとなりました。また、地域の森田地区民の方々とコミュニケーションを図ることができ、とても良い体験となりました。来年も、部員で心をこめてパウンドケーキの製造・販売をし、森田地区文化祭を盛り上げていきたいと思っています。

森田夢市

11月10日の森田夢市では、栄養研究サークル恒例の手作りパウンドケーキの店を出店しました。今回は、野菜を使ったパウンドケーキを中心に、一本売りのみの販売をしました。野菜は、ほうれん草・かぼちゃ・さつまいもの三種類、その他にプレーン・抹茶マーブル・ココアマーブルを販売しました。又、ホワイトスノークッキーの販売も行いました。野菜のパウンドケーキ作りは手間がかかり、とても大変でしたが、野菜独特の苦味を感じさせない美味しいパウンドケーキを作ることが出来ました。

今年は、特にかぼちゃのパウンドケーキがあっという間に完売し、昨年に比べてほうれん草の完売も早かったです。森田地区文化祭でのパウンドケーキの購入が叶わ

かったことから、野菜以外のパウンドケーキを購入してくださるお客様も多かったです。森田地区文化祭と同様、ココアマーブルの売れ行きがよく、完売が早かったので、来年はもう少し数量を増やしてみようと思います。

毎年、野菜のパウンドケーキを楽しみにして下さる方が多く、たくさんの喜びの声を頂き、とても嬉しかったです。お客様から様々なご要望も頂いているのですが、今年は例年通りのものしか出来なかったため、来年度は人参など、他の野菜を使ったパウンドケーキ作りも挑戦していきたいと思っています。



ユネスコサークル

伊藤 かおり

実施日(活動日時):平成25年10月19日(土)

私たちの活動は主に募金活動や献血活動の手伝い(献血を受ける方の記録係)があります。それは、仁愛女子短期大学の学生、先生や職員、他大学の学生、地域の方々など、たくさんの人が集まる大学祭(仁短祭)の中で行われます。

今回は日赤(日本赤十字社)の都合で献血補助活動は行われませんでしたので、主に募金活動について述べたいと思います。大学祭当日、午前は学科・クラスごとに分けて出している模擬店の仕事を行っていたので、募金活動はほとんどできませんでしたが、午後は時間が空いたので午後の1時間30分ほどを使って、校内や出店されているあたりを集中的に回って、活動を行いました。「募金活動を行っています、ご協力お願いします。」と大きな

声をだして、お金が少しでも集まるように努力しましたが、残念ながら今回はあまりお金は集められませんでした。

その原因は3つあると思います。一つ目は活動時間が短かったこと。二つ目はその場でぶっつけ本番の形で行っていた活動なので、事前に多くの人に知らえてもらえなかったこと。やはり、みんなによく知ってもらう必要があったと思いました。三つ目は3人で固まって行っていたので、それぞれで分散して活動を行っていたら、もっと効率的になったのだらうと思います。

今回の活動を通しての反省は、そもそも募金活動というのは多くの人に理解してもらい、時間をかけてじっくりやる必要があるのだらうと思います。その点で今回はあまりうまくいかなかったのでしょうか。やはりお金を集めるというのは大変なことだと改めて実感しました。

今回の活動は、このような形で終わってしまいましたが、このことが来年のユネスコクラブの活動に活かされると良いと思うので、後輩に伝えておきたいと思っています。

折り紙研究会

福井市消費者祭り

田中 遥奈

実施日(活動日時)：平成25年12月1日(日)

消費者祭りでは、来てくださったお年寄りや子どもたちと一緒に折り紙遊びを楽しみました。折り紙は小さい子どもから大人の方まで楽しめるように、さまざまなものを練習して準備しました。

まだ折り紙をやりはじめたばかりだった小さい子には教えるのが難しく、最初は上手く教えることができませんでした。しかし、「お山とお山をくっつけてね。」など簡単な言葉をつかうと、スムーズに折り進めていくことができました。自分が保育者になってからも、子どもたちの目線に立って言葉に気を付けて教えていきたいと思います。折り鶴など少し難しいものは、お年寄りの方が喜んでくださり、「お正月につかうね。」と言葉をかけていただいととても嬉しかったです。ボランティアを通して、さまざまな方とコミュニケーションをとることができ、自分にとって良い経験になりました。これからもさまざまなボランティア活動に参加していきたいです。

ボランティアでは、保育者にとって大切な福祉の精神や、人との温かい関わりを感じることができました。ボランティア活動で学んだことをこれからは活かしていきたいです。

反省点は、いくつかのブースをつくって、それぞれのところに好きなように子どもが行くことができるようにしていましたが、ツリー作りに人気が集申し偏ってしまったことや、参加した子どもの年齢幅が広がったので、一人一人に合わせた声かけを上手にできなかったことです。しかし、自分たちが頑張って用意したお手玉などで楽しそうに遊ぶ姿や、ツリーが完成した時のうれしそうな笑顔などを見ることができて、頑張ってボランティアをしてよかったと思いました。今回学んだことを保育者としての保育に活かしていけると良いなと思います。



福井市河合公民館 「仁短のお姉さんと遊ぼう」

川代 夏未

実施日(活動日時)：平成25年12月8日(日)

私たちは、「仁短のお姉さんと遊ぼう」という活動を行いました。内容は、まずフルートとピアノの2重奏をし、その後「クリスマスツリーや飾り作り」、「ドレミパイプで遊ぼう」、「お手玉で遊ぼう」といったブースにわかれて子どもたちと遊びました。最後にブラックパネルシアターを行い、参加した子どもたちにお菓子をプレゼントしました。

この活動を通して、子どもたちが楽しむことができるような企画を考える大変さや、活動中も子どもたちの様子を見ながら進めていく大切さを学びました。

幼児教育学科



エンゼルタウン 2013

高溝 梨紗

実施日(活動日時):平成25年9月22日(日)・23日(月)

「エンゼルタウン2013」は、幼児や小学生を対象とした職業体験ができるイベントでした。このイベントに来た子どもたちからは、「自分が将来なりたい職業について、はやく学んでみたい」という思いが伝わってきました。体験内容には、消防士や銀行員、ドーナツ屋さん、花屋さんなどたくさんあり、「どれを体験しようかな、選べないな」と悩んでいる光景がよく見られました。

私は、商店街の職場体験を子どもたちに指導するボランティアをしました。はじめ子どもたちは「いらっしゃいませ」と大きな声を出すことを、恥ずかしがってためらっていましたが、いろいろと接客などをしているうちに慣れてきたようです。職業体験中盤には、大きな声で楽しそうに「いらっしゃいませ!」と言っていました。商品を買ってくれた人たちから、「ありがとう。お仕事頑張ってるね!」と言われて、照れくさそうにしている姿も見られ、微笑ましいなと思いました。

このボランティアを通して、子どもと接するなかで、保育実習の時とはまた違った子どもたちの姿や表情、親子の関わりを見ることができました。ここで体験したことを実習等で応用していけるよう努力していきたいです。

子育て応援団 「すこやかふくい 2013」

竹内 翔子

実施日(活動日時):平成25年11月23日(土)・24日(日)

私は、「すこやかふくい2013」のステージ司会をしました。忘れ物の案内や、緊急の連絡にもその場で対応する難しさを痛感し、臨機応変に行動することが大切だということ学びました。また、初めて会うスタッフの方々と活動するということで、人間関係を築く力や人と接する力がついたと思います。

反省点は、前日から台本をいただいていたにも関わらず、まったく頭に入らないまま進めてしまい、ただ読むだけの進行になってしまったことです。もっと文章を頭の中に入れ、人に伝える話し方をする必要があったと思いました。子どもたちをひきつける話し方ができたり、大人の方にもしっかりと各グループの魅力を伝えられるような話し方ができたら、もっと良い司会になったかと思いました。

しかし、暗い雰囲気ですテージに上がることのないようにするため、出番以外の時間にスタッフの人と明るく話をしたり、準備や片付けなど率先して動いたりするようにと心がけ、明るく笑顔で話すことができました。

